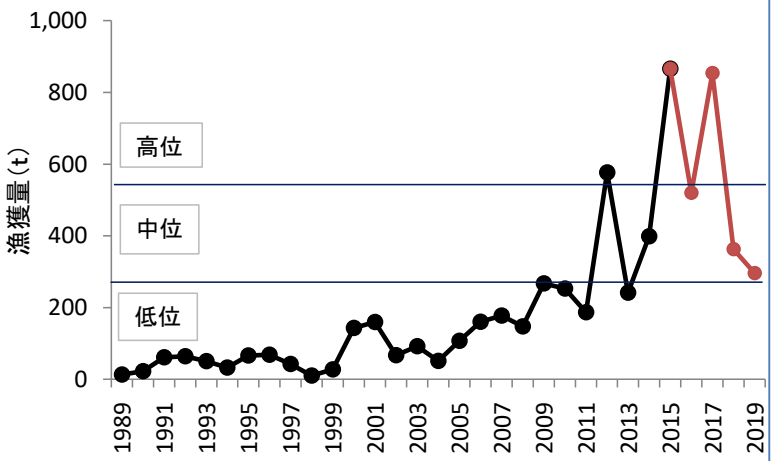
ブリ

令和元年12月

資源の動向 「中位・減少」

相模湾の直近5年のブリ漁獲量は2017年と比べ2018年～2019年と大きく減少しており，動向は中位・減少と判断される。銘柄別では特に最も大きい銘柄である「ブリ」の漁獲量減少が顕著である。

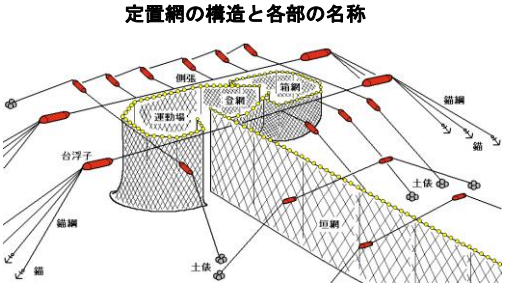
なお、現在の日本周辺ブリ資源は高位・減少傾向と推定されている。



相模湾のブリ類漁獲量の経年変化
（定置網：1989～2019）

主な対象漁業

〇定置網



生物学的特性

〇分布：日本の沿岸全域に分布

〇移動：2歳未満の未成魚は大きな回遊をせずに地先付近に滞在し、2歳以上となった成魚の多くが東シナ海の産卵場まで南下回遊を行う。産卵を終えた成魚は索餌のため北上回遊を行う。

〇成長・産卵期：1歳で尾叉長40cm以上、2歳で60cm前後に成長する。また、出世魚として知られ、成長段階ごとに呼び名が変わる。相模湾ではモジャコ→ワカシ→イナダ→ワラサ→ブリと呼び名が変わる。産卵可能年齢は2歳以上とされ、寿命は7歳前後と考えられている。